



## 2012年10月報

Vol.444

10月1日発行

<b>主 題</b>	<b>2012 - 2013 年度 クラブ・部・区・アジア地域・国際</b>
ク ラ ブ 主 題	会長 宮本桂子「ワイズライフを楽しもう！」 “ Let's Enjoy the Y's Life ”
阪 和 部 主 題	部長 正野忠之「元気に みんなで」スローガン「10年後の阪和部へ、つながる」
西 日 本 区 主 題	理事 成瀬晃三 “ Let's Y'smen Light Shine before Others In the club, in the community, in the world”
スローガン	“ 先頭に立ってワイズの光を輝かそう クラブで、地域で、国際社会で ” “ Devote Yourself to Y'sdom and Get More Satisfaction!” “ ワイズメンの満足度向上を真摯に取り組もう”
アジア地域主題	地域会長 Oliver Wu (台湾) “ Years bring wisdom ” 「歳月は Y's をワイズ(賢者)にする」
スローガン	“ Action vitalize life with strength ” 「行動が活力を呼び覚ます」
国 際 主 題	国際会長 Philip Mathai (インド) “ Be the light of the world ” 「世を照らす光となろう」
スローガン	“ Share your blessings in love ” 「恵みを愛もて分かち合う」

### 東Y40周年と大阪河内ワイズ38年を迎えて

佐古至弘



大阪東Y  
は 1972  
年大阪南  
Y M C A  
の東大阪  
地域拠点  
での活動  
を始める  
ために西  
樟蔭大学

付属幼稚園の施設をお借りして、東Y幼児会員、幼稚園児との活動が始まりました。田中園長先生、初代伊藤主事の協力により色々なプログラムができ年1回の東Yの運動会も150名~200名参加できる大会が開かれました。その数年後、大阪河内ワイズメンズクラブ設立、東Y現在地に約800坪の広場と地域募金による青少年センター体育館付きが建設され本格的に活動が行われ地域にも認められ発展した。しかし、1998年頃より大阪Y全体的に困難な時があり、東Yもそのために社会福祉特別養護老人ホームとして再出発して現在に至っています。河内ワイズは東Yとサンホームに奉仕活動に参加しておりますが、現代社会の青少年のいじめ、自殺その他暴力事件などを思うと今こそ青少年の育成に力を入れるときではないかと思ひます。ワイズメンズクラブの皆さまも今一度考えてみる事が大切と思ひます。

【今月の聖句】 ヨハネによる福音書 17章21節  
「父よ、あなたがわたしの内におられ、わたしがあなたの内にいるように、すべての人を一つにしてください。」



世界Y M C A正章の中心に記されている聖句です。Y M C Aの創立者ジョージ・ウィリアムスの誕生日(10月11日)を覚えてB Fの精神としましょう

### 【10例会プログラムご案内】

日時：10月18日(木) 18:30~20:30

会場：サンホーム6階

強調月間 “ B F ”

司 会 : 横田憲子さん

開会点鐘 : 会長・宮本桂子さん

ワイズソング : 一 同

聖句朗読 : 中野義彦 君

ゲスト・ビジターご紹介 : 司会者

会長の時間 : 会長・宮本桂子さん

食前感謝 : 岩坂正雄 君

講話

『企業のCSRって何かに』

富士ゼロックス大阪・石黒 修 氏

インフォメーション : 当 該 者

誕生・結婚記念日お祝い: 会長・宮本桂子さん

にこにこアワー 中野涌子さん&初田真佐子さん

Y M C Aの歌 : 一 同

閉会点鐘: 会長・宮本桂子 さん

9 月 例 会 報 告

EMC 自己診断プログラム

報告：大谷美佐子

日 時：2012年9月20日(木) 18:30~20:49

会 場：大阪東YMCA サンホーム 6階

出席者：メン・伊藤圭介、岩坂正雄、大谷美佐子、加藤寿枝、

佐古至弘、正野忠之、新本英二、杉村 徹

田中惟介、中野義彦、藤井敬子、丸尾欽造、

宮本桂子、望月 強、横田恵子、

メネット・伊藤玲子、大藪暢子、新本力子、中野涌子、

初田真佐子、丸尾初子、望月治子、

ゲスト・松野時彦、澤野準司、石川、伊藤

以上26名



司会・正野忠之メンが定刻に開会を告げ、宮本会長の開会点鐘、大谷美佐子聖句朗読、司会者によるゲストの紹介、食前感謝 岩坂正雄メン、にこにこアワー 各テーブル2名。

サンホームに9月1日付けにて着任された松野時彦館長のご挨拶そしてサンホームのスタッフよりチャリティーランの支援金のお礼の挨拶があった。

チームは“M&M”と“サンホーム愉快的仲間”の2チーム、ベストを尽くし頑張りますとの力強い宣言があった。

会長の時間：宮本会長より最初にクラブ内でのEMCの取り組みのため他クラブの方にご迷惑をおかけしたことのお詫びが



述べられました。会長が最近感じられたことで、知合いが脳梗塞で倒れられ入院のあと在宅でのリハビリ、日常生活も大変なのに受け入れて貰う施設の乏しさ、介護保険の脆弱な体制であることに憤りを感じる。弱者に対してサンホームが重大な役割を担っていると思う。今後YMCAにサンホームのような施設を増やして欲しい。



クラブ内研修「EMC 自己診断プログラムに沿って・・・」大谷EMC委員長より今期EMC事業への取り組みが話される。阪和部長を輩出しているクラブとして頑張らなければならないこと、交流事業と共にDBC締結に向けた年とし40周年を目標として進めてゆく。新会員は3名の目標。

米村西日本区EMC主任が提言されている「自己診断プログラム」に沿って進めてゆく。

資料は米村西日本区EMC主任より提供されたもの。各テーブルのリーダーと書記を決める(リーダーは後で発表)EMC委員長より各項目を読み上げ各自記入する。そのあと各テーブルのリーダーチャートに記入線を引きしテーブルごとに評価を発表する。(線が消えていて記入に時間かかりバタバタとした)

発表は、Aテーブル・・・松野さん・Bテーブル・・・正野さん  
Cテーブル・・・丸尾さん・Dテーブル・・・加藤さん

大谷EMC委員長のまとめ&宮本会長評価

会長評価・・・初めての試みでした、河内クラブで良い評価が示されたところはこれからも保って行き、弱いとされたところは今後考えて行きたい。=集計評価はEMC事業報告に記載=インフォメーション

・阪和部会について(宮本会長)

当日の集合時間・役割担当の確認

・交流事業(岩坂委員長)

“DBC締結をめざして”の資料提示 40周年記念に締結式を目指す

・メネット(丸尾会長) 西日本区事業支援金35000円を送金済み報告。毎月の例会前にメネット会開催予定

・クリスマス例会(田中委員長)2月16日(日)

19:00~21:00

9/20現在参加者 16名

・東YMCAクリスマス(新本) 12月2日(日)

10:00~15:00 参加協力申し出

・チャリティーラン(正野) 10月8日(日)

誕生祝い、結婚祝い、恒例のニコニコアワー、YMCAの歌育唱、畠平副会長欠席のため宮本会長の閉会点鐘によって散会。本月のニコニコは19800円でした。

以上

**第38期 9月役員会報告**

報告 大谷美佐子

日時： 2012年9月27日(木) 19:00~20:30

場所： 大阪東YMCA

出席者：宮本桂子、田中惟介、大谷美佐子、中野義彦、藤井敬子、畠平剛志、横田憲子、丸尾欽造、望月 強、正野忠之、岩坂正雄、杉村 徹、佐古至弘、丸尾初子

10月例会 10月18日(木) サンホーム C班担当

ゲスト：石黒 修 (イシグロ オサミ)氏

テーマ：「企業のCSRって何かに？」

役割担当：司会・横田憲子、 聖句朗読・中野義彦  
食事手配・横田憲子、食前感謝・岩坂正雄  
ニコニコ・中野涌子・初田真佐子  
受付・会計 中野義彦、藤井敬子 音楽担当・  
会計兼任

11月号ブリテン原稿

10月例会報告・岩坂正雄 10月にここにこテープ起こし・  
岩坂正雄 10月役員会報告・大谷美佐子  
Yニュース・重信直人 サンホームニュース・杉村 徹  
巻頭言・芳澤伸之 原稿締切・10月26日

《 審議事項 》

1. 10月例会 C班(丸尾班長) 上記の通り

2. 11月例会に関して A班

(望月班長・新本・田中・芳澤・加藤)

ゲストスピーカー 奥野 誠 氏

「ホビの予言」・「ホビ族の」・「デニス・バンクス」

「和歌山の原発」

対談形式 聞き手 田中メン

3. じゃがいもファンドについて (望月)

9月27日現在 ジャガイモ ・307個(目標550個)  
かぼちゃ 34個(目標60個)

4. DBC 締結について (EMC 大谷 ・ 交流 岩坂)

遠い所、近い所と候補が出される。更に情報を集め次回  
役員会にて話し合う

5. 次々期会長選挙委員選出

会長の提案で恒例により直前会長を委員長とし、幹事が  
委員となることで決定する。

委員長・横田直前会長、委員・丸尾、望月、正野、伊藤

6. 阪和部会の報告について

・参加者 179名 (ワイズ152名・リーダー27名)

・畠平実行委員長、丸尾ブリテン委員長が記事を記載する

・写真担当班作成の阪和部会当日のDVD を和歌山、奈良、  
東YMCA のリーダーにプレゼント。正野部長が届ける。

・大阪泉北クラブの小路メンにお礼を考える。

・これを機に東Yリーダーと河内ワイズと一緒に東日本大  
震災支援について考える会をもってはどうかとの提案

(正野)

・部会評価会を11月1日(木)19:00~サンホームで  
開く

7. ロビー展について

委員で検討し10月役員会で報告する。

8. チャリティーランについて

・担当場所 警備担当

・おにぎり 120個 藤井メン手配

(飲み物はサンホームが用意)

9. 納涼例会報告 (藤井)

・参加 24名

・オークション 46200円

・九州北部災害支援無人販売 10000円

(8月30日、日本YMCA同盟に送金済み)

《 報告事項 》

1. YMCAクリスマス会 委員会報告

12月2日(日) 河内クラブバザー販売担当

東YMCAクリスマス献金目標額 100万円

2. 阪和部会

審議事項 6 に記載

3. ネット会より報告 (丸尾ネット会長)

・西日本区事業支援金 (振込済み)

国内プロジェクト 20000円、 国際プロジェクト

10000円、 RSD 5000円

・東Yクリスマス会で手作りの品を販売する予定

《 連絡事項 》

1. チャリティーラン実行委員会

9月28日(金) 19:00~20:30 出席・宮本

2. チャリティーラン 10月8日 9:00~13:00

3. 阪和部第2回評議会 10月13日(土) 13:00~15:00

出席・宮本、中野

4. 大阪YMCA創立130周年シンポジウム

10月27日 13:00~16:30 大阪YMCA会館

5. NPO法人 輪 遠足 10月20日

参加 藤井、伊藤ネット

6. じゃがいも到着 10月27日(土) 9:00AM

7. 奈良YMCAチャリティーラン

11月3日(土・祝) 9:00~13:00

8. 第2例会の運営 19:00~

10月4日(木) チャリティーランについて

11月1日(木) 阪和部会評価会

12月6日(木) 議題未定

第2例会は次期クラブ運営についての話し合いの  
場としたい(畠平次期クラブ会長の考え)

9. ウェルネスウォーク

和歌山紀の川クラブ 10月21日

10. BF代表応募の案内

訪問エリア インド・アメリカ・アフリカ

希望者は会長に届けて、所定の申請書に必要事

項を記入の上、11月1日まで区理事に届け出る

こと。詳細は、ファンド委員まで

11. 大阪市ゴミ焼却施設舞洲工場見学(阪和部地域奉仕・環境

事業主催) 11月24日

12. なごみ 10月27日

以上

## 特別寄稿

東日本大震災被災手記  
避難生活1年を迎えて… (上)

手記: 森松 亜希子

筆者・森松亜希子さんは、大阪東YMC Aのサンシャインキャンプに参加された森松明暁君(4歳)のお母様です。

YMC Aに寄せられたメールから、ここに掲載することのお許しをいただいたものです。数回に分けて掲載させていただきますので是非お読みいただきたいと思います。

(ブリテン委員会)

**被災**、避難してきて1年が経ち、私達親子の被災手記を書きってみました。もしもよろしければ、どうぞ読んでいただけましたら幸いです。(いかに今回のキャンプの招待というご支援がありがたかったか、より伝わるとよいのですが・・・)どうぞよろしくお願いいたします。

## 1. ~震災当日の様子~

私は、福島県郡山市から、昨年のゴールデンウィーク明けに、大阪に避難してきました。

家族は、夫と、現在4歳5ヶ月の息子(2008年1月生まれ)、1歳9ヶ月になる娘(2010年10月生まれ)の4人家族です。

大阪へは母子3人だけで避難して来ており、夫は今もひとり、福島に残って私たち妻の為に働いてくれています。

震災当日の2011年3月11日、私は当時生後5ヶ月の娘と2人きりで自宅マンションにいました。自宅マンションは、10階建ての8階の一室でした。

その日の午後も、ふだんの日常と何ら変わらず、娘相手にのんびりと過ごしていました。当時3歳になったばかりの息子は、翌月の4月に入園する予定の幼稚園に2歳の頃から通っていた為、こちらもふだんと変わらず、朝8時に迎えに来る幼稚園バスに乗って幼稚園に行っており、不在でした。

午後2時46分、とても激しい揺れを感じた私はすぐに地震だと気づきました。

とりえず目の前にいる娘の安全を考え、娘の頭を守るように抱きかかえました。でも、震度3や4のちょっとした揺れとはまるで違い、その揺れはどんどん激しくなる一方で、私はその場に立っていられませんでした。生まれて初めて、私は自分の命の危険を感じました。と、同時に、娘の命の危険ももちろん感じました。

震度6は一瞬冷静さを失うくらい、ほんの一瞬でしたが、パニックに陥りそうでした。ガーッとという凄まじい音と揺れ、そしてあまりに激しい揺れで立ってられないので、私は娘を食卓のローテーブルの下に寝かせたのですが、当時生後5ヶ月になったばかりの娘は、何を勘違いしたのか、激しい揺れが自分を揺さぶってあやされているものと勘違いして、キャッキヤ、キャッキヤと声を上げて大喜びして笑っていました。

命が助かった今となれば笑い話ですが、当時はそれどころでは

ありませんでした。

かなり長い揺れでしたが、リビングにいた私が目にしたのは、食器棚とか重たい家具やソファが、壁から離れ、ピョン、ピョン、とまるでスローモーションのように部屋の中央にいた娘と私の方に迫って来る様で、今思い出してもゾッとします。

正直、地震だと最初に思ったのは間違いで、何か別の、もっとものすごい事が起こっているのかと思っただけです。

それと、あまりに長い揺れで、終わりはないのか?永遠に揺さぶられ続けるのかしら?と、本当に恐怖でいっぱいでした。

とりえず、かなり怖かったです。

幸い、娘も私もケガはありませんでした。いつ、長い揺れが収まったのかは分かりませんが、気づいた時には、家中、瓦礫の山で、足の踏み場もない状態に唖然としたのを覚えています。

でも私の味わった恐怖はこれで終わりではありませんでした。

逃げ場を確保しようと、ふとリビングの端、ドアの方に目をやると、廊下のあたりから、水がアメーバのように滲み出ているのです。

自宅は古いタイプのオール電化のマンションで、各戸(室内)に2日分くらいの温水を溜めておける大きな給水タンクが備え付けられているのですが、そのタンクが震度6の揺れで傾いたり倒れたりしたらしく、配水管も切断、破壊したことによって、地震発生から1時間後くらいには、自宅のリビングから各部屋に水が流れ出して、全部屋が水に浸かってしまいました(水深10センチ~15センチくらい)。

娘は布団を敷いた寝室に避難させていたのですが、そうこうするうちに、今度は天井からも、ようするに、9、10階の上階にある部屋も同様にタンクが倒れて浸水し、その水が漏れて、壁や梁の隙間から水が降ってきました。

はじめは雨漏りのような感じで、赤茶色のおかしな色の水がポタポタと、これまた全部屋から落ちて来て、まだ震度4くらいの余震も頻繁に起こる中、私はマンションの強度が心配になりました。

しかも、浸水と上から降ってくる水漏れで、もう0歳の娘を寝かせておける乾いた安全な場所が自宅には何処を探してもありませんでした。

まだ寒い季節で娘を濡らすわけにはいかないしで、外は小雪が舞っていましたが、もう家を出るしかないと決意し、生後5ヶ月にして初めて娘を“おんぶ”しました。

第2子出産のお祝いで頂いていたおんぶヒモは、「首が据わる生後6ヶ月頃からの使用可」と書かれており、頂いたままの新品でまだ着用したことがありませんでしたが、私は一か八かで娘を背負ってみました。何しろエレベーターの停止したマンションの8階から何回階段を上り下りする事になるか分かりませんでしたので、前抱きのスリングでは無理!と判断して、娘の首がどうか据わって...と祈るような気持ちでエイヤアッと娘をおぶりました。

それに、幼稚園にいるであろう息子を自分の足で捜索にも行かなければなりませんので...当時3歳になったばかりの息子の事を地震の揺れの瞬間から一時も忘れてはいませんでした。

園舎は確か前の夏に新築したばかりだったし、でもこの揺れだし...ダメならダメかもしれない...揺れている最中から、息子

の生命も覚悟はしていました。幼稚園の先生が守ってくれている(はず)と信じて、祈るような気持ちでいました。

自宅が水没して、下の娘の安全確保やらで、幼稚園へはすぐに向かえずにいました。気がつけば地震から約2時間が経過し、午後4時半の送迎バスの時刻となっていました。ふだんは自宅マンション前までやってくる園バスはもちろんやってきませんでした。

息子と行き違いになってはいけないうし、また、息子が帰って来ても自宅には安全な居場所がないので、私は余震が頻繁に起こる中、娘をおぶってオロオロしていましたら、自宅マンションの前にあった保育園が、広間を開放して下さり、そこへ乳幼児を連れてくる人はおいで、と言っただけでした。

子どもたちにとって安全な場所を確保することが出来たので、やっと息子を捜しに行ける、探しに行こうとしたのが夜の7時前で、辺りは真っ暗になっていました。

幼稚園の先生が、お迎えに行けていない園児の為に、1軒1軒園児の自宅まで送り届けて下さる車に運良く遭遇出来たので、やっと息子とも無事に再会が果たせました。

息子は幸いにもケガはなく、ちょうどお昼寝時間中に震度6の揺れがあったため、その揺れで目が覚めた、という感じで、地震の揺れ自体がトラウマになると言う事もなく、むしろその後の余震を体験し、自分は地震は全然怖くないんだ!と思っ

ているようで、それは不幸中の幸いだったのかもしれない。

夫は、その日、「夜は仙台に出張だから」と言って、早朝、いつもどおり出勤していきました。私たちの住んでいた郡山は、仙台まで新幹線で1時間くらいの所にあります。

地震発生時、瞬間的に、新幹線は止まってしまうだろうから乗ってたらまずいな、と思いました。ただ、何時の新幹線で仙台に向かっているのかも聞いていませんでしたし、それこそもう仙台にいたり、新幹線に乗っている途中だったら、今日中に夫に会えるだろうか?そもそも夫は無事なのかしら?と心配しました。

夫は、通常勤務を終えて、新幹線に乗るために、駅に向かって歩いている道路上で地震にあったようで、すぐに職場に(歩いて)戻ったらしく、幸い郡山市から離れてはいませんでした。被災した職場の片づけやらをしたあとに、たまたま勤務先に停めていた自分の車があったので、それに乗って夜中の11時頃に自宅マンションに戻って来ました。

自宅の玄関ドアと、一階のロビーの郵便ポストのところに、「子供たちは無事!皆でマンション前の保育園にいます」と、マジックで書いた紙を貼り付けておきましたので、それを見て、夫は私たちの居場所を何とか探し当て、私たち家族は、かろうじてその日のうちに家族四人、全員無事に再会を果たすことができました。

その日から約1ヶ月の間、私達家族は避難所暮らしも経験しました。

(2. ~大阪での一年~ は次号に掲載)

## リーダーとワイズと共に 阪和部会

179名の参加をいただいて

正野忠之阪和部長の想いを聞かせていただくことから準備が始まった。彼の視線の先にはワイズの将来の担い手として各YMCAのリーダーがいる。そこにピッチリ焦点を合わせた。「部会をリーダーとつくろう!」各YMCAのご理解をいただき27名のリーダーが大阪、和歌山、奈良の各YMCAからお迎え

きた。会場として南YMCAを使えないことは痛手ではあったが、結果として大阪府教育会館「たかつガーデン」に179名の参加者を一堂にお迎えすることができたことは幸いした。全ての指揮を執ったのは畠平剛志実行委員長。今期、阪和部広報事業主査を務めているが、ワイズ歴も浅い中で先入観に濁りのないすばらしいセンスで立ち上げたと言える。「全席指定席」としたことや所属クラブごと縦列に席を指定したのも彼の仕業。特に、当日は、目立たず黒子役に徹していたのが印象に残る。正野忠之部長の喜びようを見てくださいましたか。舞台上、ロビーで、同期の区役員の方々をはじめ多くの方からホットな祝福を浴びながら上昇気流に乗っていた。今期の活動は始まったばかり、各事業主任と主査のお二人から揃ってプレゼンテーションをいただき(一部の事業主任のご欠席)しっかりと活動の指針に念を押されていました。部長から宣言文の読み上げがあり、会場を引き締める場面も演出されました。ワイズソングは噛みしめて歌ってくださいましたか。登録会費は金四千円也。参加者の間では、昼食が用意されているか否か、秘かに話題になっていたことをあとから耳にする。今回の部会広報のチラシには、そのあたりの事が記載されていなかったことから昼食が準備されていないと判断され、事前に昼食を摂られた方がおられたようです。これは、正直言って“オーマイガッド”であります。ごめんなさい。リーダーのプレゼンテーションは、東日本大震災の現地・宮城県で被災者支援活動を劇として発表され

た大阪、一年間の活動を報告された奈良、新しいリーダーが入ってから育てゆく様子を舞台上で演じられた和歌山。ワイズの中には、リーダー経験者も多く在席されていますが、(実数を調査してください)卒YMCA後に千葉に赴任するリーダーが東日本区でワイズへの関わりを約束する宣言もあり、今回の部会に多くの若い種が蒔かれた。苗を育てる肥料はきらせない。



阪和部主催 9月1日 大阪南YMCA

心触れ合う「メネットの集い」でした

メネット会長 丸尾 初子

毎年、部の合同メネット会は、部会開催日の午前に同じ場所で開催されることが定例となっていました。今回は部の諸事情で、単独に開催されることになりました。

「メネットの集い」の開催に向けて、白井公子メネット事業主査は、準備の段階から、会場の選定、プログラムの組み立てや広報に至るまで大奮闘され、結果として一部・二部構成の充実した内容の集いになったことを感謝してご報告させていただきたいと思います。

単独開催されたことによって、昼食をはさんで3時間の時間が与えられました。このことは、メネット活動を語り合う上でそれぞれのお立場の方々が十分にプレゼンテーションされることができたことであり、プログラムの展開、進行の中でゆったりと交流を深めることができました。いつもは、数分の持時間しかないメネット事業主任さんや主査さんから、活動方針やお考えなど深く聞かせていただくことができました。

特に、Y M C A制作のDVD「東日本大震災希望の光を未来へ」を視聴したあと、野村靖子西日本区メネット事業主任さんからは、活動の柱とされている被災者に寄り添うための支援「こころのケア」を考えるプログラム実施について、地味な働きではありますが、と前置きをされながら、そのことを省けない意義と計画について静かに語りかけられ、聴かせていただいたメン・メネット共々に理解し、協力を心に誓いあいました。

成瀬晃三西日本区理事も、応援に駆けつけて下さいまして、激励のメッセージをいただきました。当日の理事さんは、阪和部メネットの「貸し切り」となりました。

正野忠之阪和部長さんも、心うきうきなのでしょうか、終始破顔の様子でした。新本力子さんのご祈祷でいただいたお弁当の味は「秋味」の醍醐味でした。

阪和部内の各クラブにおけるメネット活動の実情もそれぞれ様々な様子ですが、各クラブの活動方針や報告など全てプリントして配布されました。

席上で寄せられた一つひとつの心を集めた献金(24,831円)が、白井公子主査から野村靖子主任に贈呈されました。

河内クラブからの参加は、伊藤玲子、新本力子、望月治子、初田真佐子、正野佐貴子、丸尾初子のメネットに加えて、正野忠之部長、横田憲子部書記、望月強部会計、丸尾欽造、そして当日参加で、新本英二初代部長の11名で、不肖、丸尾初子が司会進行を務めさせていただきました。

(写真は2枚共メネットの集い)



有機栽培された北海道産、十勝クラブが地元生産者から直接購入しています。ボランティアの手によって出荷され、収益金は地域活動の原動力になります。  
**入荷日 10月27日(土)東YMCAに午前9時到着予定**  
**じゃがいも(男爵) 栗かぼちゃ**  
 価格: ¥1,700 (10kg入り1箱・税込み)      価格: ¥2,600 (10kg入り1箱・税込み)

毎年ご好評いただいている北海道産「じゃがいも」「かぼちゃ」を販売いたします  
**大阪河内ワイズメンズクラブ** 担当 望月・杉村  
 受け渡し: 入荷日に東YMCAにお越しください。  
 お問い合わせ  
**YMCAサンホーム**  
 TEL 06-6787-3733 FAX 06-6787-3885

ゲストスピーカー プロフィール



石黒 修 氏  
 イシグロ オサミ  
 富士ゼロックス大阪  
 総務部 CSR課

大阪府守口の生まれ

府立淀川高校(現淀川工科高)卒業。富士ゼロックス(株)に社会貢献室があることを知り就職したが、意にかなわず物流業務に従事。1987年に、富士ゼロックス大阪(株)に出向、業務、総務業務に就き、兼任ではあるがやっとな社会貢献担当となった。趣味は登山、園芸、クラフト、歩くこと・・・  
 会社で社会貢献を担当するとともに、大阪府健康福祉部障がい保健福祉室から「大阪府工賃倍増計画推進委員」を委嘱され、授産施設の工賃倍増活動をし、また、地域社会に根ざした企業の社会貢献活動について考えることを目的とした「中央区フィランソロピー懇談会」の筆頭幹事として活動している。SO活動を通しワイズにも知人が多い。



**E M C 事業報告 ( 自己診断プログラム )**

2012, 9, 20

EMC委員長 大谷美佐子

9月例会は皆様のご理解によりEMC事業を考える月にして頂いたことに感謝申し上げます。全体の評価のご報告致します。

**評価すべきところ**

- ・ B - 1 ( 例会を毎月開催しているか? )
- ・ B - 2 ( 開会時間、閉会時間を守られているか? )
- ・ B - 3 ( 会長、書記を中心にレジュメの準備ができていますか? )
- ・ B - 4 ( 議事録を作成メンバーに報告出来ていますか? )
- ・ C - 1 ( 各役職は明確な役割分担ができていますか? )
- ・ C - 5 ( ネットの活動を理解しているか? )
- ・ D - 1 ( クラブ会計の潤沢な運営ができていますか? )
- ・ D - 4 ( 区の献金目標を達成出来ていますか? )
- ・ E - 5 ( 区や部への人材輩出を積極的に行っているか? )
- ・ F - 2 ( YMCAの特徴を理解しているか? )
- ・ F - 3 ( YMCA会費の納入をしていますか? )

**クラブの課題、問題点**

- ・ D - 5 ( クラブ人材育成に積極的に投資しているか? )
- ・ E - 1 ( クラブの将来を担う人材を計画的に育成しているか? )
- ・ E - 4 ( 経済的支援が必要なメンバーに育成制度や基金をもっているか? )

**メンバーの意識がずれているところ**

- ・ A - 4 ( クラブにふさわしいビジターを毎回迎えているか? )
- ・ A - 5 ( 例会にワイズの説明資料を準備していますか? )
- ・ C - 2 ( 次期会長、次々期会長まで候補者がきまっているか? )
- ・ C - 3 ( 毎年の引き継ぎは確実に行われていますか? )
- ・ C - 4 ( 区や部の行事に積極的に参加しているか? )
- ・ D - 2 ( ファンド活動を通してクラブ内の親睦が図られているか? )
- ・ E - 3 ( 若い会員や会暦の浅い会員にメンター ( 助言者 ) をつけ、見守りやサポートしていますか? )

項目別に整理しますと上記のようになりました、皆様どのように思われますか?

メンバーの意識のずれているところが多かったのには少し驚きました。しかしいざとなれば一致団結の出来る素晴らしいクラブです。むしろ違いを尊重し、互いを理解し合い大いに意見を交わしながら宮本会長を中心に良いクラブ作りをして行きましよう。皆様大変有難うございました。

**メネットミニ情報 9月例会報**

白井事業主査が「ネットの集い」協力へのお礼としてご来会くださいました。今年は千羽鶴を折りましょう 区メネット事業支援金を区に送金決定。(送金しました) 手作り品の話し合いをいたしました。出席者:伊藤さん、大藪さん、新本さん、中野さん、初田さん、望月さん、丸尾さん

**9月例会の余韻 ニコニコ語録**

大藪暢子:メネット代表大藪暢子。前回初めて塩飴が当たったのですが、今回は残念ながら当たらなくて・・・

新本力子:今日はありがとうございました。皆さんの元気をもらいに来ました。

望月 強:中西部会に出席してきました。なんと講師は岩坂先生の息子さんです。大変格調高くて、その上親譲りで、弁が立ち、皆 話に引き込まれていました。岩坂さんの息子さんには是非とも河内ワイズに入っていただきたいなぁと思いました。好青年で、実を言うと 私には話は非常に難しかったです。それともう一つ、ブリテンに私にとって一番長い文章が載りました。多分、読んでも人は少ないと思いますが、あれはね、丸尾さんに「書け、書け」と乗せられまして、書いたら、あとは何とかするからと言われ、ざ っと書いたのですが、あのように標題もつけて頂いて大変ありがたかったです。

松野時彦館長:私がYMCAに入った時の面接官は、岩坂さんでした。で～主事になるまでの昇級試験の面接官も岩坂さんでした。私に不手際があった時の責任の一部は岩坂さんにも有るのかなぁと思っています。先ほど、青少年育成と言うお話がありましたが、このサンホームはYMCAスペースがあるサンホームであるとして、ずーっと先輩が進めてまいりました。ここにいる杉村君も専門職からYMCAの総合職になって一年間香港へ行って、サンホームに戻ってきました。で、今日のことですが、定員10名のデイサービス 初めて10名になりました。八尾方面に懇意にしておられるお医者さんがいらっしゃれば、ご紹介いただきたいと思います。

それから この秋は、秋山と言うスタッフが研修生として香港へ1ヶ月、勉強に行きます。YMCAスピリッツのあるスタッフを育成すると言う願いのもとです。これからもユースリーダー、スタッフの育成をお支え頂きたいと思っています。ありがとうございました。

澤野準司サンホームスタッフ:今日は初めてこの会にチャリティーランのお礼に来たのですが、おいしいご飯を頂いてお呼ばれたような気分です。当日、私は走らないのですが、しっかり応援したいと思っています。よろしく願います。ありがとうございました。

杉村徹連絡主事:なかなか出てこれなくて大変心苦しく思っています。今日、デイの方で定員達成しまして、もう少しすれば、落ち着いて出てこれると思います。今後ともよろしく願います。それからチャリティーラン、ご支援ありがとうございました。頑張って走るリーダーがいます、若いスタッフがいます。是非応援してやって下さい。ありがとうございました。

新本英二:誕生日のお祝いを頂戴しました。それと一昨日 パソコンが起動しなくなりました。NECの機械ですから NECに電話して2人の方からあしなさい、こうしなさいと2時間30分指導を受けたのですが、動かなかった。その夜、10時から誰も起きていない時になんとかなるかも と一人でいじっていると、パッと起動しました。それから復旧というボタンを押して、メールを少し余分に削除したら上手く助かりました。(完)

( 起稿・田中惟介 )

**今月の強調月間メッセージ**

**10月 “BF”**

世界につながる、世界をつなげるブラザーフード基金 (BF)。使用済み切手収集から始まる国際交流の輪。あなたの貢献で世界のワイズはつながる。

岡野泰和 ファンド事業主任 (大阪土佐堀)

**第18回大阪YMCAチャリティーラン2012**

**と き : 2012年10月8日(祝・月)  
9:00 ~ 13:00 雨天決行**

**と ころ : 大阪市 大阪城公園**

**会場: 極楽橋北側広場**

**8:15 ボランティア・スタッフ集合**

**8:30 エントリー受付開始**

**9:00 開会式・体操**

**12:30 表彰式・閉会式 -**

主催: 大阪YMCA

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区

日本YMCA国際賛助会

後援(予定): 大阪府/大阪市大阪市教育委員会/(社)大阪青年会議所/(社福)全国社会福祉協議会/(社福)大阪府]社会福祉協議会/(社福)大阪市社会福祉協議会/(社福)大阪市ボランティア協会/(財)大阪府青少年活動財団/ラジオ大阪/(社福)朝日新聞厚生文化事業団/(財)関西テレビ青少年育成事業団/(社福)NHK厚生文化事業団近畿支局/(株)日本経済新聞社/厚生労働省/内閣府/大阪YMCA賛助会

オフィシャルスポンサー

Mitsubishi Corporation

富士通

会 員 数	19名
(特別メネット会員数)	1名
9月例会 会 員 出 席 者	15名
メイクアップ	1名
9月の出席率	84.2%
ゲスト・ビジター出席数	4名
メネット・コメット出席数	7名
例会出席者総数	26名
役員会出席者数	14名
9月延べ出席者	40名
9月ニコニコファンド	19,800円
同 今 期 累 計	40,700円

**2012 10 Oct. >> 11 Nov. スケジュール**

- 10月 4日(木)・クラブ第2例会 19:00~21:00  
・メネットクラフト例会  
13:00~15:00 東YMCA
- 10月 8日(祝・月)・大阪YMCAチャリティーラン  
大阪城公園
- 10月13日(土)・第2回阪和部評議会 13:00  
大阪南YMCA  
・ライブラリーコンサート  
大阪南YMCA  
開演 15:00 ¥1000  
出演 デュオ ババール
- 10月18日(木)・クラブ第一例会 18:30~20:30  
大阪東YMCA
- 10月20日(土)・NPO「輪」遠足支援・京都水族館
- 10月21日(日)・和歌山紀の川クラブ ウエルネス  
熊野古道ウォーク 6.9Km
- 10月25日(木)・クラブ役員会 19:00~21:00
- 10月27日(土)・大阪YMCA創立130周年  
記念シンポジウム 13:00~  
・サンホーム「なごみ」  
・ジャガイモ到着 9:00 予定
- 11月 1日(木)・クラブ第二例会 19:00~21:00
- 11月 3日(土)・奈良YMCAチャリティーラン  
生駒山麓公園 9:00~13:00
- 11月11日(日)・東YMCA 40周年の集い  
15:00 サンホーム
- 11月15日(木)・クラブ第一例会 18:30~20:30
- 11月17日(土)・大阪センテニアルクラブ  
30周年記念例会  
ホテルグランピア大阪  
14:00~17:00 ¥8000  
登録締切 10月15日
- 11月22日(木)・クラブ役員会 19:00~21:00
- 11月24日(土)・大阪市ゴミ焼却施設見学(阪和部)

**Happy Birthday**

10月22日 中野 涌子 さん (天秤座)

**Wedding Anniversary**

10月11日 岩坂正雄・千種 夫妻

10月15日 青野剛暁・亜希子 夫妻

10月27日 横田憲子・允宏 夫妻

**第38期 2012/2013年 クラブ役員**

会 長・宮本 桂子	Yサ・ASF・畠平 剛志
副会長・畠平 剛志	地域奉仕・芳澤 伸之
直前会長・横田 憲子	EMC・大谷美佐子
書 記・田中 惟介	ファンド・佐古 至弘
大谷美佐子	交 流・岩坂 正雄
会 計・中野 義彦	広 報・伊藤 圭介
藤井 敬子	メネット・丸尾 初子
連絡主事・杉村 徹	会計監査・岩坂 正雄

発行者: 宮本桂子 編集者: 丸尾欽造  
ホームページ: <http://kawachi-ys.org/>